

法学部・法務研究科専任教員 2013年度研究業績

秋池 宏美 教授

【学術論文】

「教育課程行政における学習指導要領の『基準性』の意義」（『駿河台大学論叢』第47号, 2014. 1）

「学習指導要領の『基準性』と性教育の自由」（『駿河台法学』第27巻第2号, 2014. 2）

【現在の研究テーマ】

子供の性的人権に関する研究

〈教育関係〉の教育政治学研究

天野 武男 教授

【翻訳】

Seisho Kyouiku (April-May-June): The Word of God in Us Lessons 9-10-11 (pp. 25-33) I Was Called before I Was Born Japan Baptist Convention, Saitama, Japan 2013

Seisho Kyouiku (July-August-September): Faith in the Grace of the Lord Lessons 22-23-24 (pp. 26-35) To Live, Nestling Up Japan Baptist Convention, Saitama, Japan 2013

Seisho Kyouiku (October-November-December): Responding to the Love of the Lord Lessons 35-36-37 (pp. 27-35): The Shepherd Who may Give Life Japan Baptist Convention, Saitama, Japan 2013

Seisho Kyouiku (January-February-March): Our Eyes on God's Hope Lessons 48-49-50 (pp. 25-33): Every Time Herod Heard about Jesus Japan Baptist Convention, Saitama, Japan 201

【社会活動】

飯能市廃棄物減量等推進審議会会長 2010年10月1日～現在まで

【現在の研究テーマ】

- ・新約聖書におけるパウロ書簡
- ・「ヨハネの黙示録」に出る象徴的数字

井上 久士 教授

【学会報告その他】

「平頂山事件研究の今日的課題」(第九回平頂山事件研究国際学術シンポジウム, 中国・撫順, 2013. 9)

【現在の研究テーマ】

日中戦争時期の中国政治史, 近代日中関係史

岩井 俊 法務研究科教授

【著書】

『家事財産給付便覧』新判例等に基づく補訂, 家事実務研究会編(担当部分「第2章 婚姻費用の分担額」, 2014. 2)

【現在の研究テーマ】

家事事件の要件および手続, 人事訴訟の要件及び手続, 相続関係訴訟の類型と要件事実, 民事訴訟実務の教育方法

海老澤 豊 教授

【学術論文】

「十八世紀英国における都会風牧歌」(『駿河台大学論叢』第47号, 2014. 1)

【現在の研究テーマ】

十八世紀英詩(特に牧歌の研究)

王子田 誠 教授

【学術論文】

流通市場における会社の不実開示責任について(四)(『駿河台法学』第27巻第2号, 11-27頁)

【現在の研究テーマ】

証券クラスアクションと仲裁

太田 幸夫 教授

【学術論文】

「アメリカ法における裁判権法理の新たな展開」『駿河台法学』第27巻1号
(2013.9)

「スモン判決の軌跡を辿る」駿河台法学第27巻2号(2014.2)

「医師の説明義務—最高裁判決に見る—」『駿河台法学』第27巻2号(2014.2)

【現在の研究テーマ】

民事手続法の比較法的研究, 行政争訟法の比較法的研究, 医事紛争の予防及び裁判外解決手続の研究

大谷 禎男 法務研究科教授

【著書】

『専門訴訟講座⑦』会社法—訴訟・非訟・仮処分—(共著)
株式会社民事法研究会 2013.9

【現在の研究テーマ】

現行会社法の問題点と改正の方向

大沼 洋一 教授

【学術論文】

「違法性の承継について」(『判例時報』2185号3頁, 2013.7)

「原告適格に関する最高裁判決と生活環境をめぐる行政訴訟の動向 上」
(『駿河台法学』第27号第1号67頁, 2013.9)

【現在の研究テーマ】

実質的当事者訴訟と無名抗告訴訟

小貫 幸浩 教授

【現在の研究テーマ】

人権法理の比較研究

織田 博子 教授

【学術論文】

「預金契約」(椿寿敏夫=伊藤進編『非典型契約の総合的検討』別冊NBL142号, 2013.4 p 126~131)

「学校事故」「スポーツレジャー・遊戯事故」「労災事故」「火災事故」(能見善久=加藤新太郎編『論点体系判例民法7 不法行為I』第一法規, 2013.12 p 158~213)

【現在の研究テーマ】

法人規定の強行法規性, 在学契約における安全配慮義務

上河内 千香子 教授

【学術論文】

「施設利用会員契約」椿寿夫・伊藤進編『非典型契約の総合的研究』181-185頁(商事法務, 2013年)

【現在の研究テーマ】

担保に関する諸問題, 区分所有法に関する諸問題

菊田 秀雄 准教授

【著書】

『会社法重要判例』(共著, 酒卷俊雄=川島いづみ=中村信夫=尾崎安央編, 成文堂, 2013.11)

【現在の研究テーマ】

EUの企業・市場法制の現代化の検討, イギリス法系の会社法の比較研究

北原 仁 教授

【著書】

Introducción al Derecho Japonés, Aranzadi, Madrid, 2013, pp. 91-124.

【学術論文】

「占領と宗教」(『駿河台法学』第27巻第2号, 2014.3, 29~52頁)

【学会報告その他】

科学研究費助成費事業基盤研究(C)(研究テーマ・占領と憲法—ラテン・アメ

リカ諸国，太平洋諸国および日本）に基づき，2013年8月31～9月12日までアメリカ合衆国ワシントンDCにて研究調査を行う。

【現在の研究テーマ】

占領と憲法—合衆国のカリブ海・太平洋諸国への膨張と日本国憲法の成立

草地 未紀 准教授

【学会報告その他】

守屋明＝仁木恒夫＝草地未紀＝一藁幸「高齢者の権利擁護における地域包括支援センターの役割—地域包括支援センターを対象とするアンケート調査結果の基本集計表—」（『駿河台法学』第27巻1号，127-156頁，2013.9）

【現在の研究テーマ】

公私協働による高齢消費者被害救済システム

熊田 俊郎 教授

【学会報告その他】

「都市型災害の現状と課題—浦安市の経験から—（関東都市学会2012年度秋季大会シンポジウム企画趣旨）」（『関東都市学会年報』第15号2013.12）

【現在の研究テーマ】

都市研究，中国研究，社会理論研究

倉島 安司 准教授

【現在の研究テーマ】

公法上の損失補償

黒田 基樹 教授

【著書】

『戦国大名 政策・統治・戦争』（平凡社新書713，2014年1月，総頁245）

『足利基氏とその時代〈関東足利氏の歴史1〉』（編著，戎光祥出版，2013年4月，総頁192）

『岩付太田氏〈論集戦国大名と国衆12〉』（編著，岩田書院，2013年5月，総頁250）

『関東管領上杉氏 (シリーズ・中世関東武士の研究11)』(編著, 戎光祥出版, 2013年6月, 総頁394)

『北条氏年表』(編著, 高志書院, 2013年8月, 総頁226)

【学術論文】

「史料紹介・上杉憲実文書集(1)」(『駿河台大学論叢』46号, 2013年7月, 39～55頁)

「小田原落城後の北条氏一族」(『日本歴史』785号, 2013年10月, 92～94頁)

「史料紹介・上杉憲実文書集(2)」(『駿河台大学論叢』47号, 2014年1月, 207～228頁)

【学会報告その他】

(講演)

「太田道灌一実像と伝承を考える」(朝霞市博物館・歴史講座, 2013年7月)

「北条五代百年の“その時”(5回)」(キャンパスおだわら歴史講座, 2013年8月～9月)

「長尾景春の乱と秩父地域」(ちちぶ学セミナー公開講座, 2013年9月)

「河越城をめぐる攻防」(川越市文化財保護協会講演会, 2013年11月)

「長尾景春と鉢形城」(埼玉県立文書館・鉢形城歴史館歴史講座, 2013年11月)

「戦国期の成田氏」(直実・蓮生を学ぶ会講演会, 2014年3月)

「三田氏と小田原北条氏」(青梅市郷土博物館企画展関連講座, 2014年3月)
(その他)

『戦国遺文房総編第4巻』(共編, 東京堂出版, 2013年5月, 総頁314)

『週刊新発見!日本の歴史27号 戦国大名たちの素顔』(共編, 朝日新聞社, 2014年1月, 総頁39)

『埼玉県史料叢書』第12巻(共著, 埼玉県, 2014年3月, 総頁)

【現在の研究テーマ】

日本中近世移行期社会論

島 伸一 法務研究科教授

【学術論文】

単著「写真・録音テープ・ビデオテープ」井上正仁・酒巻匡編『刑事訴訟法の争点』ジュリスト増刊（2013.12），170頁.

【学会報告その他】

1. 講演「アメリカの『共謀罪』について—日本の共謀共同正犯との異同とその立法の要否を中心にして—」, 日本弁護士連合会主催, 2013.6.4（衆議院会館に於いて）.
2. 講演「アメリカ合衆国の軍事司法制度—日本の刑事司法との比較および日米地位協定17条（裁判権をめぐる問題）」, 渉外知事会幹事会主催, 2013.11.22（都道府県会館に於いて）.

【現在の研究テーマ】

日米の刑事法に関する研究.

竹内 健互 専任講師

【学術論文】

「教唆犯理論の一断面—教唆犯の処罰根拠とその限界についての展望—」『刑事法学におけるトポス論の実践 津田重憲先生追悼論文集』, 2014.3

「択一的認定の諸相とその許容性について」法学研究論集第39号, 2013.9

「犯罪被害者と実体刑法」NCCD JAPAN第45号, 2013.4

【現在の研究テーマ】

教唆犯論, 事実認定論

千草 孝雄 教授

【著書】

アメリカの地方自治研究（志學社2013年8月）

【学術論文】

「行政概念の歴史的発展（2・完）」駿河台法学第27巻第2号（2014.2）

【研究テーマ】

行政責任論

成田 憲彦 教授

【著書】

『ゲストは語る記者が問う—日本記者クラブの会見から—』（共著、「穏健な多党制をめざす」の章、日本記者クラブ、2013年8月）

【学術論文】

「参議院の位置づけ：何のために存在するのか（特集 参議院の今後）」（単著）（『都市問題』104(5)、2013年5月）

【学会報告その他】

- ① 参議院国の統治機構に関する調査会参考人（2013年11月27日）（第185回国会参議院「国の統治機構に関する調査会会議録」第2号）
- ② 「イミダス e ライブラリー」（共著）（「国会」の項 2013.11）

【現在の研究テーマ】

政治制度の研究、現代日本政治の動向分析

長谷川 裕寿 教授

【学術論文】

「修復的司法における〈責任〉の一断面」津田重憲先生追悼論文集『刑事法学におけるトポス論の実践』（成文堂、2014年3月）

【現在の研究テーマ】

刑事不法、刑法における情操、修復的司法

半田 吉信 法務研究科教授

【学術論文】

「錯誤立法の基礎」（「千葉大学法学論集27巻4号（森田博志先生追悼号）、2013.4）」

「子どもの権利とハーグ条約」月刊福祉2013年7月号（96巻8号、2013.7）

「錯誤立法と錯誤の種類」（高森八四郎先生古稀記念論文集 法律行為論の諸相と展開（法律文化社、2013.10）

Die Reformarbeiten am japanischen Zivilgesetz, Rechtstransfer in Japan und Deutschland (Hrsg.v.Baum/Baelz/Riesenhuber) (Carl Heymanns Verlag, 2013.10)

【学会報告その他】

(判例評釈)「多種科学物質過敏状態が発症した労働者の使用者に対する損害賠償請求(安全配慮義務違反)(東京高判平成24・10・18判時2172号30頁)」私法判例リマークス48号(2014.2)

【現在の研究テーマ】

比較法的視点からみた日本民法(債権法)の改正, ヨーロッパにおける私法の平準化, ヨーロッパ共通家族法の制定

朴 昌明 准教授

【著書】

『韓国経済システムの研究—高パフォーマンスの光と影』(共著)(日本評論社, 2014年3月), 担当部分は第3章「李明博政権下の韓国労使関係」(pp. 53-77)。

【書評】

「横田伸子著『韓国の都市下層と労働者 労働の非正規化を中心に』」(2013年11月, 『現代韓国朝鮮研究』第13号, pp. 89-91)。

「安周永(ミネルヴァ書房, 2013年)『日韓企業主義的雇用政策の分岐—権力資源動員論からみた労働組合の戦略』」(2014年3月, 『海外社会保障研究』第186号, pp. 66-70)。

【社会活動】

リクルートワークス研究所におけるプロジェクトの編集協力(プロジェクト名「アジア9カ国の人材マーケットページックリサーチ」の韓国部門を担当)

【その他】

「〈Korea Watch〉韓国の労使問題を聞く①」『東洋経済日報』(2014年2月14日記事)

「〈Korea Watch〉韓国の労使問題を聞く②」『東洋経済日報』(2014年2月21日記事)

【現在の研究テーマ】

韓国の人的資源管理・労働経済

福田 二郎 教授

【学術論文】

「E.M. Forsterの思想形成：クラッパム派の再評価」（『駿河台大学論叢』第46号，2013.7）

【現在の研究テーマ】

英文学，ヨーロッパ思想

寶金 敏明 法務研究科教授

【学術論文】

「国税事務に係る情報公開・個人情報保護の諸問題」税大ジャーナル2013年6月号

「境界・難問Q & A No.1 筆界確定訴訟の類似必要的共同訴訟該当性」登記情報2014年5月号

「シリーズ対談・土地家屋調査士と境界確定の技法『最小二乗法の活用』」月刊登記情報2013年6月号，同7月号，同8月号

【学会報告その他】

「長狭物に係る地籍調査の諸問題」全国公共嘱託土地家屋調査士協会連絡協議会・地図作成総括責任者養成講座における講演2013年7月19日，東京都

「近代土地所有権の生成，登記筆界と地籍図筆界，筆界特定制度と筆界確定訴訟」京都裁判所鑑定講座における講演（全3回）2013年12月14日，2014年1月11日，2月11日

「森林の再生」パネラー，東京弁護士会・環境シンポジウム2014年2月1日以上の他，各地における市民講座での講演（土地境界に係る各論的な諸問題），大分・二戸・名古屋・東京・金沢・福井・久留米・千葉・松本など

【現在の研究テーマ】

公物管理界の研究，集团的筆界確定訴訟の提案，『地方公務員のための行政法』（2015年刊行予定），『山林の境界』（編著，2014年刊行予定）

松平 光徳 准教授

【現在の研究テーマ】

知的財産権の沿革と現代的課題，著作権法の現代的課題：フェアユース法理

の再検討

マーティン・A・フォールズ 准教授

【現在の研究テーマ】

(テーマ1) 狩野派代表者であり、越後地方で活躍した徳川幕府の表絵師狩野梅笑(1727-1807)の様式と、その影響から離れようとした梅笑の弟子で仙台藩御用絵師の東東洋(1755-1839)の様式とを比較する。

(テーマ2) 解放された江戸社会で急変化を見せた化政時代の絵師達が一人一人の個性をどのように表現したかの研究。その仲、人気を得た「新」円山四条派の代表者の一人として、東海道、中山道、京都、丹後地方で活躍した鈴木南嶺(1775-1844)の様式を画譜、印譜等を通して考察し、まとめる作業中である。

吉田 恒雄 教授

【学術論文】

「子ども虐待防止のオレンジリボン運動」(『小児歯科臨床』18巻10号(2013.10))

【学会報告その他】

「子ども虐待防止の取り組み」喜多明人他編『子どもにやさしいまちづくり(第2集)』(日本評論社, 2013.9)

「精神障害者による児童虐待への対応に関する法学的研究」(平成23~25年度科学研究費助成事業報告書)(2014.3)

【現在の研究テーマ】

児童虐待の法学的研究, 児童福祉における子どもの権利擁護制度の研究

米山 哲夫 教授

【現在の研究テーマ】

刑事政策の学問的基礎, 少年非行と少年法